

- 当社が属するT & Dグループにおいて、「気候変動の緩和と適応への貢献」をサステナビリティ重点テーマとして掲げており、事業活動を通じて低炭素・脱炭素社会の実現に貢献することを表明しています。
- それを受け当社においては、CO<sub>2</sub>排出量を2025年度までに2013年度比で40%削減する目標を設定し、再生可能エネルギー由来の電気への切替や電力量を低減させる設備への切替を実施しています。これにより、炭素生産性の向上を図ります。

## <事業適応計画の概要>

### 1. 事業適応計画の実施期間

2022年3月～2024年3月

### 2. 生産性向上目標

炭素生産性を27.6%向上させる。

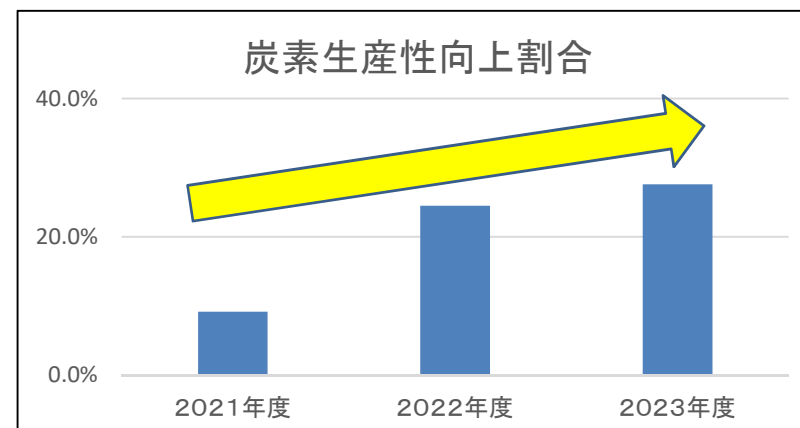
### 3. 前向きな取組の内容

当社において、CO<sub>2</sub>排出量の多くを占める電気に関し、再生可能エネルギー由来の電気への切替や電力使用量を低減させる設備への切替等により、炭素生産性を27.6%向上させる。

### 4. 支援措置

税制措置（カーボンニュートラルに向けた投資促進税制）

## <取組の内容のイメージ>



電気プランの切替

LED・空調設備  
の切替

サーバー等の  
IT機器の切替